



特集：「西川原地内の新駅」ができるとうなる！

Text : RACDA 藤井正史

● 岡山市の6月補正予算にJR山陽本線・岡山～高島間に新駅設置へ向けた調査費が盛り込まれました。どんな駅になるのか、報道から明らかにしてみましょう。10個の疑問にまとめてみました。

● Q 1・場所は？

● A 1・岡山駅から東へ2.6km、高島駅から西へ1.9km 具体的には、旭川の東、就実大学の北側、百間川からの高架橋が終わるぐらいの位置です。就実大学へは徒歩0分で行くことが出来ます。

● Q 2・駅の規模は？

● A 2・7両編成対応のホームが、下り・上りの向かい合わせに設けられます。山陽本線も赤穂線も殆どの列車が4両編成以下なので、十分安全に停まれる長さになります。有人駅を考えているそうで、今の大元駅みたいな感じになりそうです。1日約1900人、およそ半分が就実大学の関係者と言われています。上道駅と同じぐらいの利用客数です。

● Q 3・停まる列車の数と運行時間帯は？

● A 3・山陽線と赤穂線合わせて、1時間あたり4本程度停まります。ただ、岡山駅や姫路駅での乗り継ぎ問題から、5分ごと連続して走るときもあれば、25分ぐらい列車が来ない時もあります。早朝の5時ごろから深夜の23時ごろまで停まります。

● Q 4・岡山駅までどのくらい掛かるの？

● A 4・現在明らかにされている位置に新駅が出来ると、運賃は140円、時間は3分程度です。宇野バスだと15分程度掛かりますから、飛躍的に短くなります。運賃は宇野バスと同じ程度です。なお、高島駅と岡山駅の間は電車で5分ですが、新たに2～3分程度、余計に時間が掛かることになります。

● Q 5・送り迎えする自動車は入れるの？

● A 5・岡山市が駅前広場として、高架橋の下にUターンできるスペースが設けられます。ただし、高架橋が低いので入れる車は乗用車程度に制限されます。

● Q 6・自転車置き場はどうなるの？

● A 6・まだ出来るのか決まっていません。岡山市内のJR駅前駐輪場はほとんど有料なので、もし出来るのなら有料になるでしょう。

● Q 7・建設費は？

● A 7・2億円ぐらい掛かると言われています。20年前の高島駅建設では住民の募金活動が行われました。



写真／藤井正史 イラスト／白井崇裕

● Q 8・今後のスケジュールは？

● A 8・6月補正予算が市議会で認められると、JRと具体的な協議が始まり、調査・設計が行われます。JRとの合意が出来ると建設工事が始まり、順調に行けば2006年・来年の春、新駅が出来ることになりそうです。

● Q 9・周辺の路線バスはどうなるの？

● A 9・新駅の周りを走っている路線バスは
宇野バス 表町BC～岡山駅～就実大学前～高島駅前～東岡山
岡電バス 岡山駅～天満屋～後楽園～浜東メディアコム前～東川原～藤原団地

● 以上の2路線があり、どちらともおよそ20分ごとに走っております。宇野バスの東岡山線は、以前高島駅が出来た時に利用客の大幅な減少から、10分間隔から20分間隔に減らしてしまいました。今の東岡山線は、大勢の就実大学の利用客で成り立っていますから、採算が悪化になれば、大幅な減便の可能性が高そうです。岡電バスは新駅から数百m以上離れたところを走りますから、直接的な影響は避けられそうです。

● Q 10・路線バスが廃止や大幅減便するとしたら、利用客にはいつ知らされるの？

● A 10・廃止では国土交通省へ届け出た上で、自治体と協議する必要がありますが、規制緩和によってバス会社の判断だけで廃止することが出来る様になりました。ダイヤ変更なら自治体へ事前に知らせる必要もないそうです。ちなみにダイヤ変更では、変更の1週間前ぐらいにバス停へ貼り出されるのが一般的です。新駅が出来れば、大勢の方が便利になるのは間違いない様です。一方で路線バスが減って不便になるところも出そうです。RACDAでは誰もが利用できる公共交通を充実させることで、暮らしやすい街をつくることを目指しています。これからも公共交通を出来る限り利用してもらえる方法を考えていきます。

- 1. ご意見をお寄せ下さい。頂いたご意見は関係各所にお伝えします。
- 2. ご要望がありましたら出前公聴会を行います。
- 3. かわら版は毎月京橋朝市で配布しています。バックナンバーはホームページよりご覧いただけます。
- 4. RACDAは第1、第3 火曜日午後7時から禁酒会館2階で役員会をしています。
- 役員会にはどなたでも参加いただけます。

事務局 〒700-0823 岡山市丸の内 1-1-15(禁酒会館 3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

http://www1.harenet.ne.jp/~racda/



特集：「西川原地内の新駅」周辺バス路線

■リポート・イラスト／松田和也

RACDA かわら版連載コーナー
「ぼっけえ便利なバスマップ」の

小さな旅

今回は「西川原地内の新駅」設置に関連して、現状の周辺バス路線を解説します。

JR山陽本線沿線の西川原・高島地区には3社4路線が運行しており、ともに表町・岡山駅方面へ運行しています。運行本数も[208]・[209]を除いて概ね1時間に2～3本の運行です。ではそれぞれの路線を注目して見てみましょう。

<宇野バス>

[205] 四御神線、岡山駅を起点に県庁・中井・湯迫を通して四御神へ至る路線。終点の四御神車庫にはバス利用者のために駐輪場が設けられている。途中には湯迫温泉があり、このバスを利用して温泉へ行くことも可能である。

[206] [207] 東岡山線、表町BCを起点に岡山駅（または弓之町）・就実大学・高島団地・新屋敷団地（高島駅前）を經由して東岡山方面へ運行する路線。沿線には就実高校・就実大学・東岡工・岡山聾学校・岡山東養護学校など教育施設が多いが、高島団地・新屋敷団地など住宅地も多く見られ、毎日多くの学生や住民が利用をしている。ただ、「西川原地内の新駅」開業後も現在の本数が維持されるのか、気にするべき状況にある。



● <両備バス>

[208] 旭川荘線、岡山駅から県庁・浜メディ・アコム・中井を通して旭川荘へ至る路線で、始発と最終を除きノンストップバスで運行されている。路線内には大型スーパーもあり、旭川荘に暮らしている人々にとってはなくてはならない、まさに生命線のような路線である。

[209] 高島シャトル、H15.6.16から運行を開始した路線で、高島駅（新屋敷団地）～旭川荘～旭川荘北を結んで運行している。平日は1日約20往復運行されており、岡山から旭川荘方面への利便性が一段と向上した。今後、高島地区の

● ミュニティバスとして発展する可能性のある路線でもある。

● <岡電バス>

[018] 藤原団地線、岡山駅から美術館・後樂園などのカルチャーゾーンや、宇野団地や藤原団地など住宅地を結び、観光路線と生活路線の2つの顔を持っている。特に旅行雑誌にも後樂園へのアクセスとして掲載されているため旅行者の利用が多い。また中高一貫校の操山中学・高校も沿線にあり朝夕は学生の利用もある。

今月の☆★ できるバス・消えるバス

● 下電バス、中鉄バス

● <共同運行化>

● 倉敷駅北口～岡山空港 リムジンバス

● 岡電バス、宇野バス

● <停留所名称変更>

● 振興局入口 → 県民局入口

● 県内各社、岡山国道事務所

● <バス利用情報サイト>

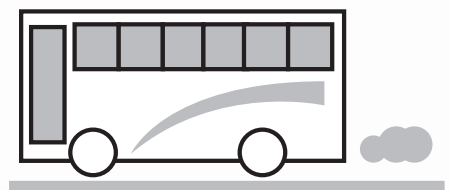
● 7月1日よりオムニバスタウン

● 計画の一環で、新しいバス利用情報

● サイトができました。バスの到着予

● 測・時刻表・路線・運賃が検索でき

● ます。



Illust by Takahiro Shirai

● ■ケイタイからもパソコンからも
● 『http://www.okabus.info/』でア
● クセスできます。